

日置少老の歌一首

三五四番

繩なはの浦うらに 塩しほ焼やく火ほのけ 夕ゆふされば 行ゆき過すぎか
ねて 山やまにたなびく

生石材主真人の歌一首

三五五番

大おほ汝なむち 少すくな彦ひこ名の いましけむ 志し都つの岩いは屋やは
幾いく代よへ経へぬらむ

上古麻呂の歌一首

三五六番

今け日ふもかも 明あ日す香かの川かはの 夕ゆふさらず かはづ鳴な
く瀬せの さやけくあるらむ